

計画の名称	丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(1) H28-R2/H28-R4〕													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）									重点配分対象の該当				
交付対象	丹波市, 兵庫県													
計画の目標	旧城下町という歴史的・文化資源を数多く有する地区であり、それらの資源の有効活用を図るため、アクセス道路の整備、案内看板の整備、広場整備など集客・交流機能の強化を図るとともに、歴史ある町家のまちなみの保全のための修景助成など、住民の快適性や満足度の向上、まちづくり機運を高めることで、地区住民の主体的なまちなみ形成の取り組みの継承・発展を図り、集客と生活の拠点となる魅力あるまちの実現を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		120	A	30	B	0	C	0	D	90	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R4末)
1	地区内の主要文化・交流施設利用者数の年間利用者数を22478人（H26年度）から30000人（R4年度）に増加 文化・交流施設利用者数を調査	22478人	人	30000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(1) H28-R2/H28-R4〕と丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(2) R3-R4/H28-R4〕の2つの計画で1つの全体事業費、定量的指標を構成している。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	丹波市	直接	丹波市	—	—	街なみ環境整備事業（柏原城下町周辺地区）	公園整備、水路整備、広場整備、案内看板整備等	丹波市	■	■	■	■	■	17	—	
	A16-002	住宅	一般	丹波市	間接	民間	—	—	街なみ環境整備事業（柏原城下町周辺地区）	修景助成、活動助成	丹波市	■	■	■	■	■	13	—	
											小計						30		
											合計						30		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
円滑化地籍整備事業	D17-001	地籍整備	一般	兵庫県	直接	丹波市	—	—	丹波市社会資本整備円滑化地籍整備事業	面積 1.13 km2	丹波市		■	■	■	■	90		—
基幹事業（A16-001）の街なみ環境整備事業に併せ、必要な土地境界情報等を整備しておくことで、円滑な事業の推進を図る。																			
											小計						90		
											合計						90		

事前評価チェックシート

計画の名称： 丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(1) H28-R2/H28-R4〕

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1 関連する上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2 景観形成を図るべき地域として位置づけられている又は位置づけられる予定である。（地域名称：柏原城下町周辺地区）	○
I. 目標の妥当性 3 地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 4 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 5 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（既存住宅ストックの有効活用、良好な住環境の整備、地域の特色ある街並みの整備）	○
II. 計画の効果・効率性 1 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 1 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 2 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 3 事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 4 計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和03年07月09日

計画の名称	丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(2) R3-R4/H28-R4〕												
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	丹波市, 兵庫県												
計画の目標	旧城下町という歴史的・文化資源を数多く有する地区であり、それらの資源の有効活用を図るため、アクセス道路の整備、案内看板の整備、広場整備など集客・交流機能の強化を図るとともに、歴史ある町家のまちなみの保全のための修景助成など、住民の快適性や満足度の向上、まちづくり機運を高めることで、地区住民の主体的なまちなみ形成の取り組みの継承・発展を図り、集客と生活の拠点となる魅力あるまちの実現を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	120	A	30	B	0	C	0	D	90	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成26年度当初	平成29年度末	令和4年度末
1	地区内の主要文化・交流施設利用者数の年間利用者数を22478人（H26年度）から30000人（令和4年度）に増加 文化・交流施設利用者数を調査	22478人	人	30000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成(第2期)〔(1) H28-R2/H28-R4〕と丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成(第2期)〔(2) R3-R4/H28-R4〕の2つの計画で1つの全体事業費、定量的指標を構成している。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	丹波市	直接	丹波市	—	—	街なみ環境整備事業（柏原城下町周辺地区）	公園整備、水路整備、広場整備、案内看板整備等	丹波市	■					17	—	
	A16-002	住宅	一般	丹波市	間接	民間	—	—	街なみ環境整備事業（柏原城下町周辺地区）	修景助成、活動助成	丹波市	■					13	—	
											小計						30		
											合計						30		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果											R03	R04	R05	R06	R07			
備考																				
円滑化地籍整備事業	D17-001	地籍整備	一般	兵庫県	直接	丹波市	—	—	丹波市社会資本整備円滑化地籍整備事業	面積 1.13km2	丹波市	■	■				90	—		
		基幹事業（A16-001）の街なみ環境整備事業に併せ、必要な土地境界情報等を整備しておくことで、円滑な事業の推進を図る。																		
													小計						90	
																		90		
		合計																		

事前評価チェックシート

計画の名称： 丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）〔(2) R3—R4/H28—R4〕

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1 関連する上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2 景観形成を図るべき地域として位置づけられている又は位置づけられる予定である。（地域名称：柏原城下町周辺地区）	○
I. 目標の妥当性 3 地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 4 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 5 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（既存住宅ストックの有効活用、良好な住環境の整備、地域の特色ある街なみの整備）	○
II. 計画の効果・効率性 1 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 1 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 2 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 3 事業の実施にあたり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 4 計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	R01	R2	R3
配分額 (a)	2	3.8	1	8	18	11
計画別流用 増△減額 (b)	0	0.0	0	1	0	0
交付額 (c-a+b)	2	3.8	1	9	18	11
前年度からの繰越額 (d)	0	0.0	2.7	1	1	0
支払済額 (e)	2	1.1	2.9	9	11	9
翌年度繰越額 (f)	0	2.7	0.8	1	7	2
うち未契約繰越額 (g)	0	2.7	0.8	1	0	2
不用額 (h = c + d - e - f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h) / (c+d))	0.0%	71.1%	21.6%	10.0%	0.0%	18.2%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由		地元協議及び調整に時間を要したため年度内の執行が出来なくなった。	関係機関のとの調整により、工程の再調整が必要となったため	隣接する他事業との調整により、工程の再調整が必要となったため		隣接する他事業との調整により、工程の再調整が必要となったため

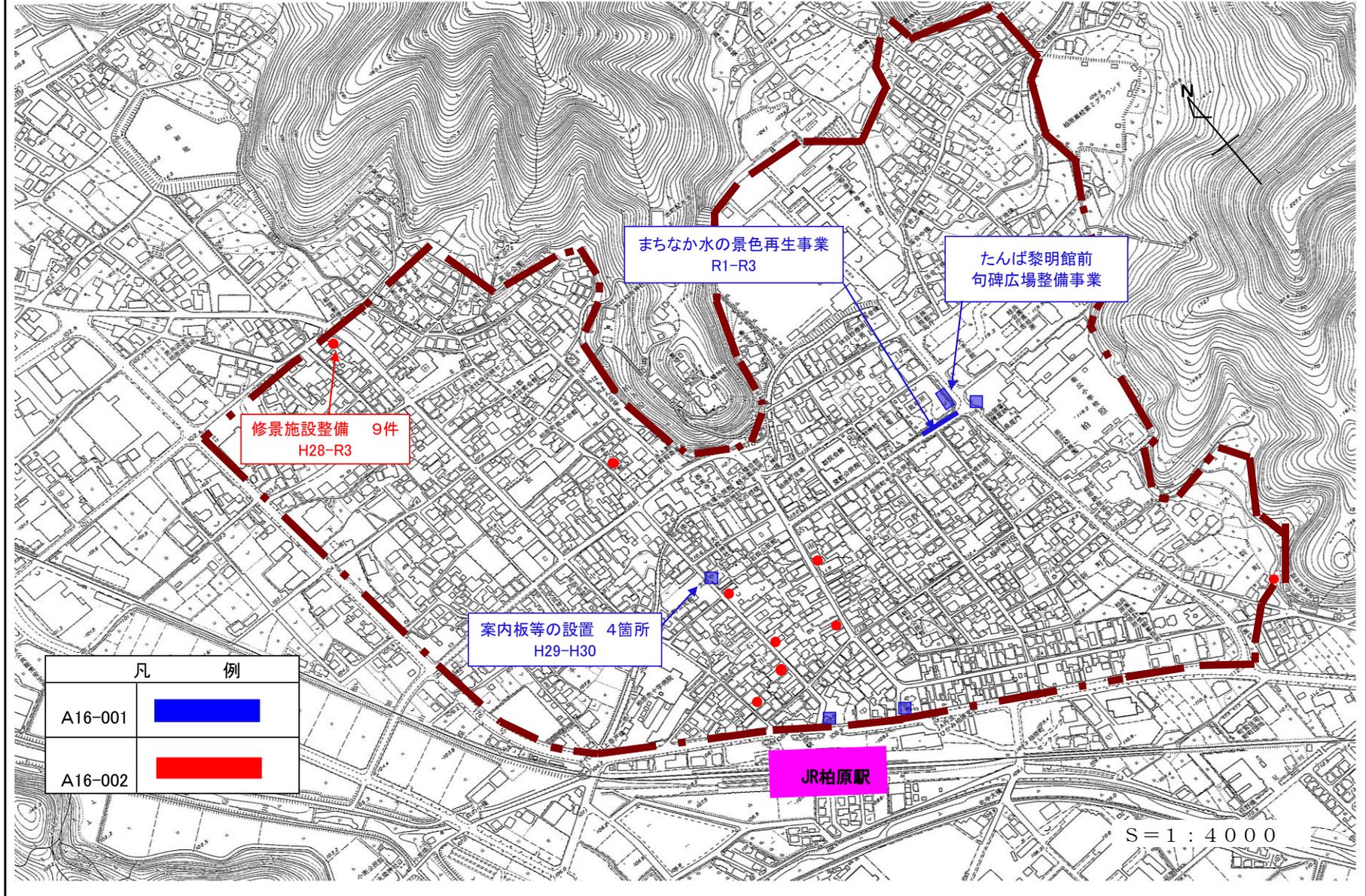
※平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

※平成29年度は事業執行中のため、予定内容を記載。

※決算額は百万円単位の表記とし、十万円以下は全て切り捨て。

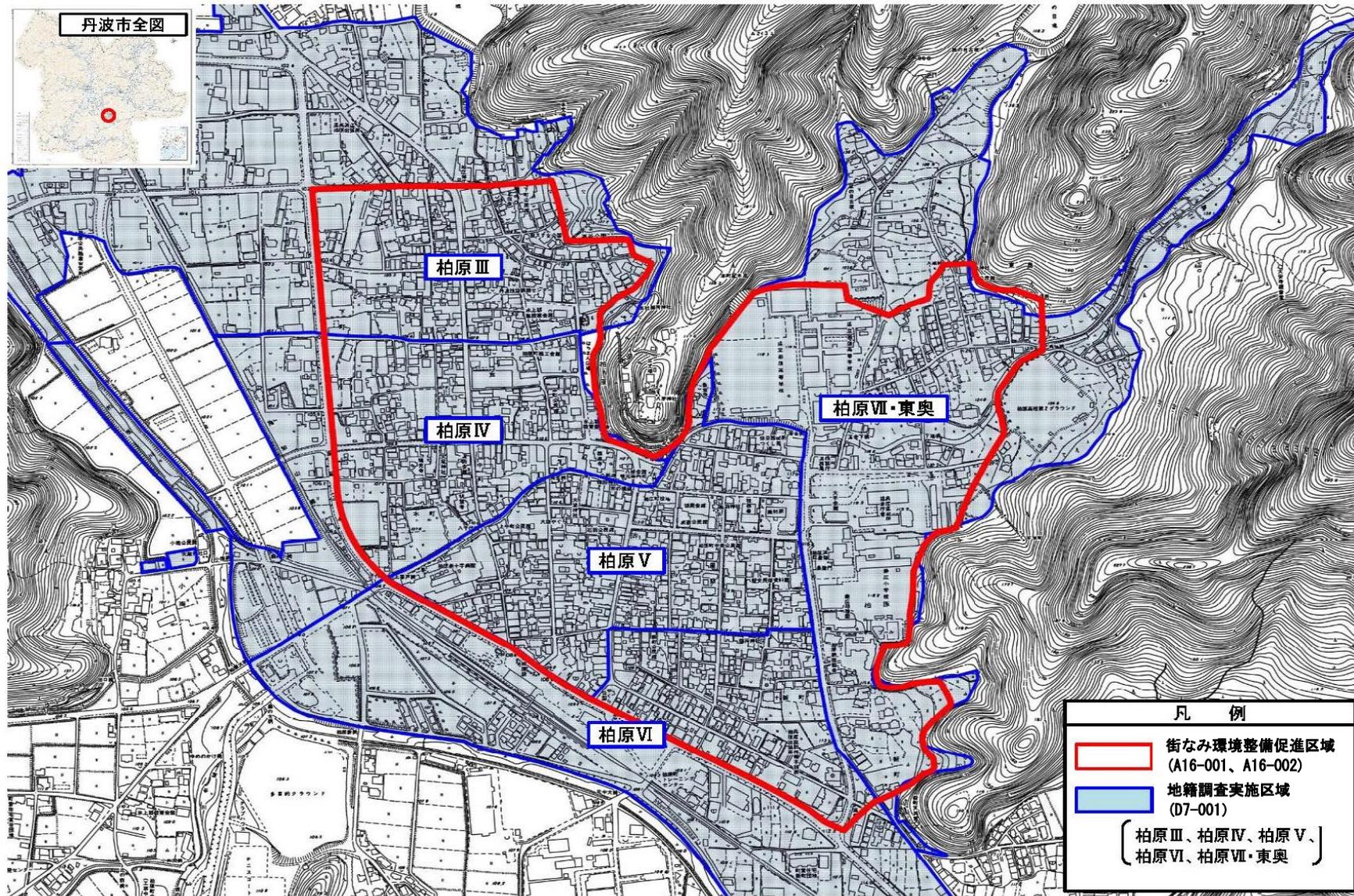
※hについては、少数第二位を四捨五入。

計画の名称	丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）		
計画の期間	平成28年度～令和4年度（7年間）	交付対象	丹波市



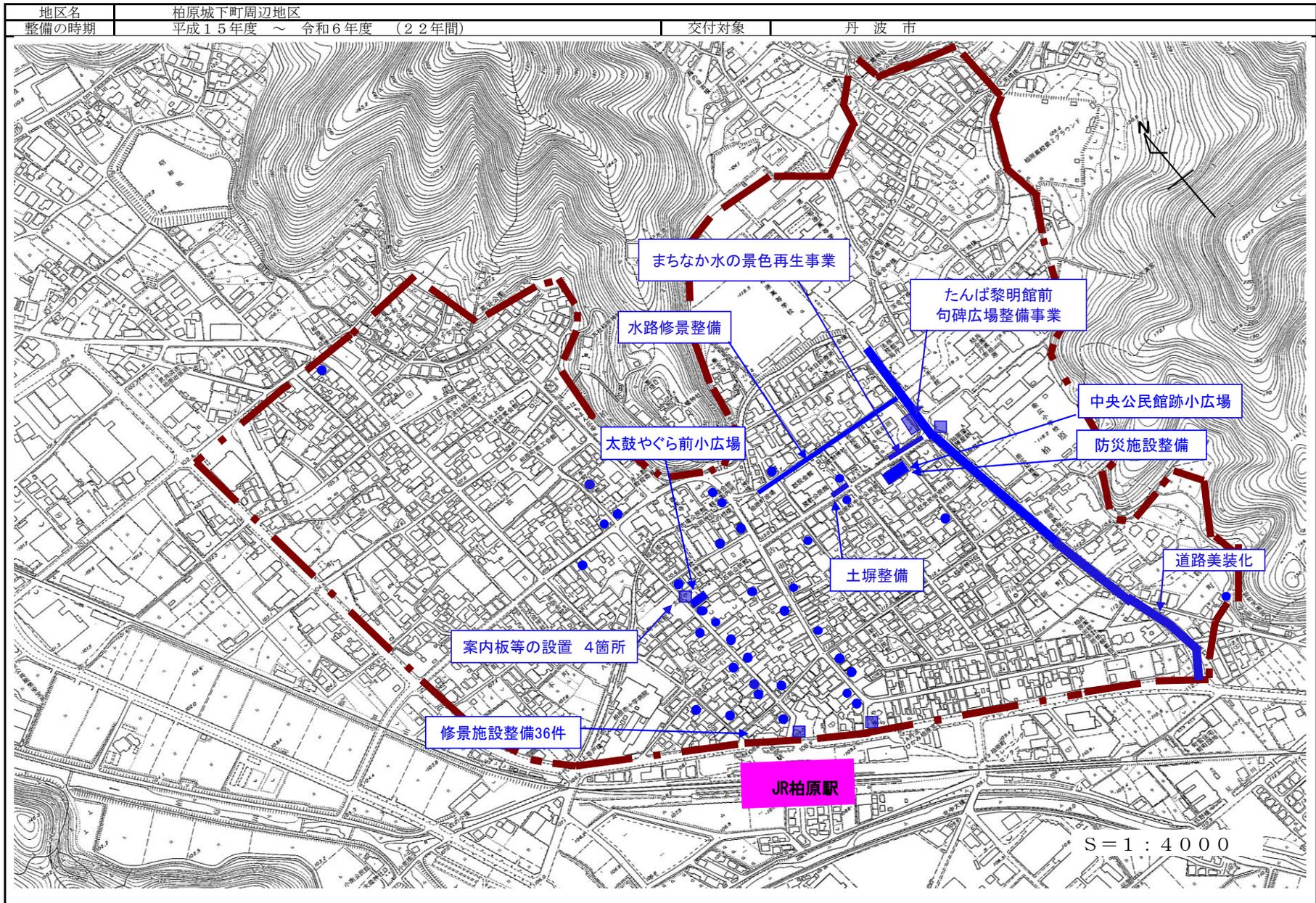
凡 例	
A16-001	
A16-002	

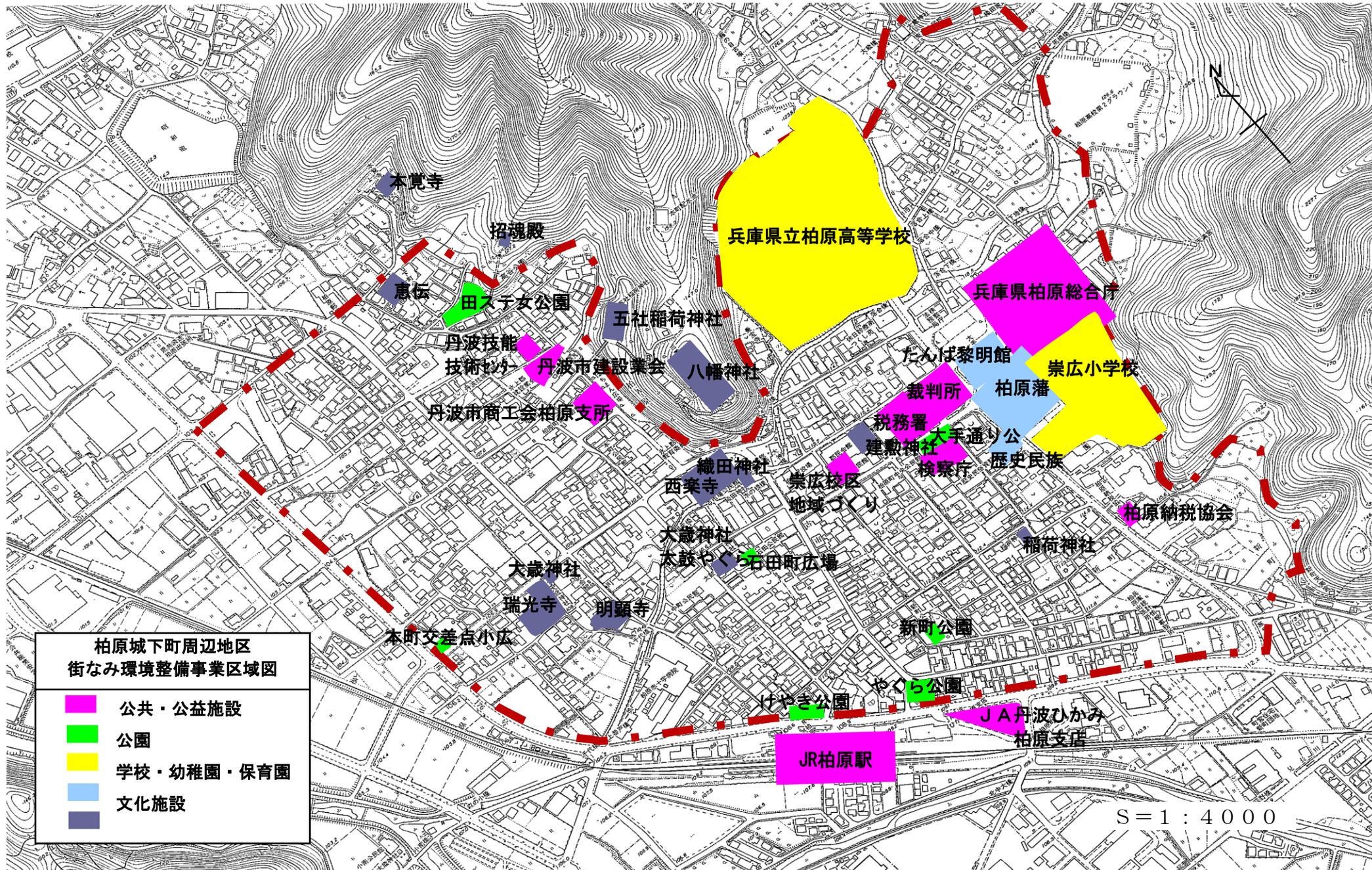
計画の名称	丹波市における城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成（第2期）		
計画の期間	平成28年度～令和4年度（7年間）	交付対象	丹波市



別記様式第6 街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	兵庫県	市町名	丹波市	区域名	柏原城下町周辺地区	
区域現況	区域の概況	<p>柏原城下町周辺地区は城下町として藩政時代から郡の行政、文化の中心であった。そのため、城下町時代からの伝統を引き継ぐ町家型住宅をはじめ、日本陣や武家屋敷、洋風建築など歴史的建築が多く立地し、日本瓦葺き、つし2階、格子に代表される歴史的街なみが残されている。</p> <p>JRの特急停車駅、国道176号に隣接し、交通の利便性の高い中心市街地に位置し、税務署、裁判所、県庁舎などの官庁街が併存している。住宅は2階建ての低層住宅が大部分である。</p> <p>現在、社会経済やライフスタイルの変化・世代交代等により、空き地や空き家が発生し、現代風の建物に建て変わっていくなど、徐々に伝統的な街なみに変化が見られる。</p>				
	道路の現況	<p>地区の南側は国道176号に接しているが、地区の中心部の主軸道路は幅員4m～6m、その他は4m以下となっている。</p>				
	公園等の現況	<p>地区には、8ヶ所の公園があるが、その面積は約1%も満たない。緑地としては「八幡神社」がある。また地区外には、広域利用の「丹波年輪の里」「丹波の森公苑」があり、地区整備との調整が考えられる。</p>				
	地区住民のまちづくり活動の概要	<p>旧計画実施において、平成13年3月に「柏原まちづくり協議会」が地区住民により設立された。役員会や街なみ・花と緑・コミュニティイベントの各部会、各種イベントを開催し積極的に活動を行っている。そして平成14年3月の総会において「柏原城下町周辺地区街づくり協定」を締結している。現在においても、継続して積極的にまちづくり活動を実施しているとともに、新たに大学との合同プロジェクトやまちづくり先進地区の事例研究も行っている。</p>				
区域の整備に関する基本方針	整備の目標	<p>旧城下町という歴史的環境をもつ地区であり観光資源も多く有すると同時に、丹波市柏原地域の中心市街地の一画で、商業地を含むとともに、多くの住民が居住する住宅地であることから、「城下町の歴史を活かした魅力ある街なみの形成」を目標とし、回遊性の高い魅力あるまちづくりをめざす。</p>				
	整備の時期	平成15年度から令和6年度までの22ヶ年				
	に地区施設等本の方整備	通路等	<p>伝統建造物が集中する歴史・文化ゾーンとその他の生活ゾーン、商業・業務整備ゾーンを設定し、それぞれの現状を踏まえた路面整備、景観阻害物の除去、街路灯の設置をすすめる。また地域施設、商業施設等をつなぐ修景道路のネットワーク化を行う。さらに、観光客の周遊性を高めるため、観光ルート等を標記した案内誘導看板の整備を行う。</p>			
		小公園等	<p>空地や空家あるいは公共用地等を活用して休憩所や交流機能、防災機能を兼ねた花と緑の街角ガーデン広場を設置する。さらに、水路・池の親水化整備とともに、防火水槽を兼ね備えた小広場整備を行う。また特に必要と認められる樹木等についてはその保全に努める。</p> <p>また、県文化財指定されている「たんば黎明館」の向かいに、歴史ある偉人を地域の文化資源として残すため、地元出身で俳人の田ステ女を記念する句碑広場を整備する。</p>			
		その他	<p>集中的豪雨に耐えるよう水路整備を行う。住民のまちづくり活動を支援する施設として、集会所、外来者休憩所などの他、高齢者にも対応したまちづくり拠点を設置する。</p> <p>地区の文化機能を高め、にぎわいを取り戻すため、地区の中心部にある洋風建築を活用して文化・ミュージアム施設等に利用していく。</p>			
	関住す宅等本の方整備	住宅	<p>街づくり協定に基づいた歴史的建造物の修理・修景を行うとともに、一般修景施設として現存する町家についても外観の修景を行い、地区の街なみ景観の形成を図る。街づくり協定に基づいた修理・修景を行う場合は、その費用の一部を助成する。</p>			
		敷地	<p>住宅の建て替え等にあたっては、歴史的な敷地割り構成をできるだけ保存し、過小敷地が生じないように誘導するとともに、協定に基づき街なみと調和のとれた形態とする。</p>			
その他事項	<p>公共施設・商業施設が立地する通り沿いを中心に、歴史的な街なみに調和する店舗等の修景を行う。</p>					





本寛寺

招魂殿

兵庫県立柏原高等学校

兵庫県柏原総合庁

恵伝

田ヌ子女公園

五社稲荷神社

崇広小学校

丹波技能
技術センター

丹波市建設業会

八幡神社

たんば黎明館

柏原藩

丹波市商工会柏原支所

織田神社

裁判所

歴史民族

柏原納税協会

税務署

手通り公

大歳神社

崇広校区
地域づくり

建敷神社

歴史民族

稲荷神社

大歳神社

太鼓やく

石田町広場

明頭寺

新町公園

本町交差点小広

瑞光寺

けやき公園

やぐら公園

JR柏原駅

J A丹波ひかみ
柏原支店